

令和6年度 学校経営構想（グランドデザイン）

【谷津小学校のめざす学校】

学校は児童のためにあり その使命は教育

教育とは 人を育むこと
 人を育むとは 心を育むこと
 心を育むとは 言葉を育むこと
 言葉を育むとは 人と関わること
 人と関わるとは 豊かな体験をすること

『児童が 豊かな体験を通して 言葉を覚え 心を育む』

【教育目標】 国際社会の中で、信頼される心豊かな人の育成
 ～ 一人一人が輝く谷津っ子の育成 ～

【めざす児童像】 素直な返事とありがとう
 ○明るく、思いやりのある子ども
 ○自ら学び、よりよい判断ができる子ども
 ○元気で、ねばり強い子ども

【めざす教師像】 児童と保護者からの信頼
 ○豊かな人間性と思いやりのある教師
 ○教育への情熱と使命感にあふれる教師
 ○教育の専門家としての確かな力量をもつ教師

<学習指導>

【重点事項】

<生徒指導>

『言葉を通じて考え、自分の言葉で語り、書く力の育成』

- ・全ての教育活動で言語能力を育む取組の推進
- ・児童が学習に ICT を利活用する場の拡充
- ・体験を通じた思考と表現の日常化
- ・各教科等の指導事項が児童に明確となる授業改善
- ・指導と評価の一体化の充実と評価方法の改善
- ・児童の願いや期待に応える特別活動の工夫・改善
- ・組織的、継続的に健康・安全教育を推進
- ・学力、体力等の調査結果を踏まえた指導等の改善

『一人一人の自己指導能力の獲得を支援』

- ・共通認識、共通行動による基本的な生活習慣の定着
- ・人権、道徳教育を柱とする安全、安心な風土の醸成
- ・自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供の3機能を生かした教育活動の展開
- ・定期的な教育相談の着実な実施と児童理解の深化
- ・いじめ防止教育、SOS の出し方教育、情報モラル教育、虐待・性暴力等への対応等の計画的な実施
- ・登校が難しそうな児童の学びの場づくりを検討

<特別支援教育（学校の教育活動全体）>

『一人一人の学びの特性に応じた指導・支援』

- ・児童一人一人の教育的ニーズの把握に向けた児童・保護者との教育相談の質的充実
- ・個別の教育支援計画と個別の指導計画にもとづく指導の充実と評価の工夫
- ・特別支援学級における児童一人一人の主体的・対話的な学びの実現に向けた授業の工夫
- ・通常学級における特別支援教育の観点を入れた授業づくり（焦点化・視覚化・共有化による指導の工夫）
- ・学校の「人・もの・こと」のユニバーサルデザイン化

『人材育成と組織の活性化』（校務分掌・連絡調整）

- ・教育愛を基盤にし、児童を主語にして、議論、協議する組織風土の醸成
- ・自己の職務の確実な遂行と目標申告等を活用した自己評価の工夫
- ・目的、目標を共有し、チームとして協働しつつ、切磋琢磨し合う人間関係づくり
- ・フォロワーシップの醸成により、次代のリーダーを育成

多様性を尊重

共生社会の一員

信頼関係の構築

『地域に開かれた学校づくり』

- ・教職員と保護者との連携・協力関係によるPTA活動の推進
- ・学校運営協議会の運営方法の工夫と活動内容の充実
- ・地域学校協働活動の組織的運営に向けた活動の横展開と体制充実
- ・児童の安全、安心の確保に向けた地域との連携による取組の継続

<PDCA サイクルの確立>

『計画と評価の充実』

- 教職員：教育活動の目的に応じた振り返りの工夫、改善
- 児童：教育活動に係る意識調査の実施と活動への反映検討
- 家庭地域：学校経営に係る意識調査の工夫、充実
- ・各調査等に基づく評価の実施

【自己研鑽に励む教職員集団】

教育とは実践 実践とは子どもをよりよく変えること
 実践なき理論は虚しい 理論なき実践は危うい

- ・児童の発達や学習に関する識見の向上
- ・年間を通して自己の課題意識に基づく教育活動や取組の工夫、改善
- ・授業の相互参観と振り返りの日常化
- ・初若年層教員等の自主研修内容の充実
- ・研究者としての自律を促す共同研究

<OODA ループの活用>

『課題への即応性の向上』

- ・現状をみる（見視観診看）
[Observe]
- ・現状が分かる（分判解）
[Orient]
- ・為すことを決める
[Decide]
- ・対応する 動く [Act]

【関係機関との連携】

- ・市教育委員会 ・市総合教育センター ・市子育て支援課 ・ひまわり発達相談センター ・習志野警察署
- ・葛南教育事務所 ・県子どもと親のサポートセンター ・児童相談所 ・京葉地区少年センター 等